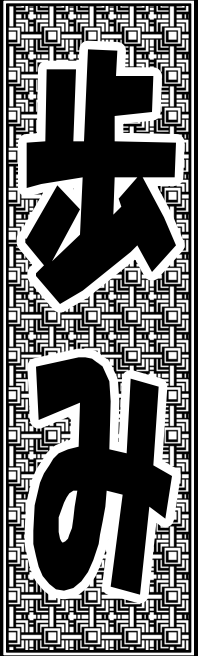


# 第90回メーデー 働く者の生活と権利と地位の向上で 私たちの暮らしと平和を守る新時代へ



2019.6.3  
NO.630号  
全港湾関西地方  
阪神支部  
大阪市港区築港  
1-12-27  
06-6574-8424  
078-303-0800  
全港湾は一人  
でも入れます



## 神戸

5月1日に「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義 中立の日本をめざそう」のスローガンのもと第90回兵庫県中央メーデーが神戸東遊園地で行われ、全体で1500名が参加しました。

主催者あいさつで成山太志 兵庫労連議長は「今の憲法が改悪されれば、自衛隊は海外派遣において兵站を含む任務を担い、戦死者が出てしまいます。『安倍改憲ノ』の声を大きく広げよう」と話され、続けて「安

倍首相はアベノミクスの成果を強調するが、実質賃金は下がっている。また、毎月勤労統計のデータ改ざん問題で、いま増税すればくらしも経済も破壊してしまふということも明白になった。応能負担の原則に則り、増税するならば大企業と富裕層に行うべきだ」と説明され、

「このような政治経済状況だからこそ労働者の団結が必要であり、まともな労働運動が必要だ」と強調されました。来賓あいさつで新社会党

当日は、新元号「令和」の始まりでもあり、「新時代の幕開け」と異常とも言えるメディアのキャンペーン報道もあつてか、世間一般が盛り上がりつつある中での開催でした。しかし、元号が変わっても「貧困・格差」「原発問題」「沖縄基地問題」は解決されず、残されたままです。「これらの問題を解決し、労働者の地位を向上させることが私

## 大阪

た。」「長時間労働をなくし、8時間働けば人間らしく暮らせる社会へ」「増税NO!の声をあげ参議院選挙の争点にし、増税中止を求めろ」「戦争法に基づき攻撃型へ変貌しつつある自衛隊へ若者を送り出さない」「沖縄では県民投票で新基地建設反対の民意が示されている。政府は丁寧を今すぐ中止せよ」と、要求とたたかう決意が盛り込まれたメーデー宣言は参加者全員の手で採択されました。最後は「団結カンパロ」で散会し、2コースに分かれ市街地をデモ行進しました。

同日、あいにくの雨の中、「令和」元年初日、扇町公園にて第90回大阪メーデーが開催されました。今年はいつもととは違い、新天皇即位の日と重なり開催時間も午後からとなり、デモ行進も小規模で行われました。世間ではお祝いムードの日となりますが、安部政権が行っている「働き方改革」「9条改憲」「消費税10%」など、これから私たちの生活を脅かす様々な問題が身にふりかかってくるかと思えばお祝いムードなどにはなりません。

4月1日には新元号が発表され、5月から新しい時代が始まり、4月7日には大阪府知事、大阪市長ダブル選挙もありました。6月28日、29日には「G20大阪サミット2019」もあり、大阪南港を中心とした主要箇所での大規模な渋滞も予想されており、港湾で働く仲間たちに多大なる影響があると思われます。

そのような様々な行事がある中、職場、地域を挙げて9条改憲阻止!、辺野古基地建設反対!、原発ゼロ!、STOP消費税10%!など約3500人の仲間たちが声を出しメーデーに参加しました。「働き方改革」では残業時間の上限規制の重大性も労働同一賃金」も名ばかりの実態が明らかになっていきます。私たちは8時間働いて普通に暮らせる賃金が欲しいだけなのです。ここ何年間も問題視されている憲法改悪にしても、誰も戦争をしたくないです。子供達を戦場に送りだしたくありません。こいつった生活、仕事、命にかかわる私たちの暮らしを守るため、はたらく仲間たちと一緒に「打倒!安倍政権!」をスローガンに今後安倍政権を追い詰めて行く事が重要だと感じました。一日でした。



9条改憲阻止! 平和を訴えるデモ行進

日本高速輸送分会 遠藤 侑助



詩人の中原中也はいわゆる酒乱で、酔つと周りの誰かに突っかった。あるときは自己嫌悪に陥り、親友にあてたわび状にこう記したという。「一人でカーニバルをやった男」よりと 中川越(えつ)さんの著書「すこい言いつい」(新潮社)より引いた。ひとりお祭り気分です。酔っぱらい、場の空気をぶちこわす。酒のせいだと笑つていられるうちはいいけれど、この発言はどう言い訳をしても通るまい。「戦争でこの島を取り返すことは賛成ですか、反対ですか」「戦争しないとうし

# 現業部会・事務職部会合同学習会 港灣運送事業法について

4月13日、神戸市勤労会館に於いて現業部会・事務職部会合同学習会が開催されました。講師を招き、「港灣運送事業法について」をテーマに約2時間の講義をして頂きました。

港灣運送事業法は、戦後の混乱期において港灣運送事業の秩序を確立し、同業の健全な発達を図り、公共の福祉を増進することを目的に、昭和26年に制定され、その後、昭和34年の法改正（登録制から免許制へ）以降、改正を経て、平

成12年に許可制に改正され現在に至っています。

講義の前半では法律制定に至る経緯・港灣運送事業の歴史とその内容について、後半は「この法律のポイント」とされる法第16条「下請け制限」を主に解説して頂きました。

「下請け制限」の概要は「一般港灣運送事業者（元請事業者）が引き受けた港灣運送については、実作業も含め、請け負った貨物量の70%以上を自ら行う、又は、当該荷役の実施に自ら



参加者が知識を深めるいい機会となった

が責任を持つようにするため、当該元請事業者と一定の資本関係や契約関係にある港灣荷役事業者等（関連下請事業者）に行わせなければならぬ」というものです。これにより、一般港灣運送事業者と下請事業者との間に介在して手数料を收受すること（いわゆるピンハネ）をなりわいとすることが防止されています。

その他、労働者保有基準など同法の効力により、行き過ぎた規制緩和に巻き込まれた他の運輸関連事業に比べ、港灣はその波に飲まれながらも踏みとどまっている現状です。しかし、今後の規制緩和によつては港灣運送の効率化（コスト削減、サービス向上）が進み、港灣運送の安定化（労働関係の安定化等）が一層、損なわれることが懸念されます。

今回の学習会に参加させて頂き、港灣労働者・港灣事業者の立場に立った政策に転換するよう、一層の運動と組織強化が必要であると感じました。

後藤回漕店分會

濱田 健一

## 歴史を学び 知識を力に

港灣運送事業法とは国の指定港灣において行つ船舶への貨物の積卸し・荷捌き・保管・はしけによる運送等の事業を規制する法律です。この法律は港灣運送に関する秩序を確立し、港灣運送事業の健全な発達を図り、公共の福祉を増進することを目的とします。

法律は昭和26年事業法制定され、その時代は、はしけ運送が主流でした。戦後はGHQによる自由化の影響を受け、輸出入貨物の奪い合いダンピング・過重労働・誤積み・積み残し等の問題があり、昭和34年に免許制、そして平成12年に許可制へと改正されました。

港灣運送の行為とは一般港灣運送・船内荷役・沿岸荷役・はしけ運送・いかだ運送・検数・鑑定・検量を指し、港灣運送を行う事業、補助的行為を行う関連事業を指します。港灣運送事業は許可制で第1種から第8種に分類されており、第1種から第5種は港灣ごとに許可が必要で、第6種から第8種までは全国で一本の許可が必要となります。

それぞれの事業の内容について、下請制限や統括管理基盤の背景に関し

ても解説して頂きました。

コンテナ船の発達によりコンテナが主流となった現在の荷役状況があり、昨今では上屋の近代化（オンライン化）が進みコンテナターミナル自動化の構想まで

## 参議院選勝利に向けた決起集会

4月23日関西地本調印団交終了後、地本主催の「参議院選挙勝利をめざす決起集会」が同会場にて開催されました。

友誼団体からは大阪労働管義人議長、大阪全労協竹林隆事務局長、野党各政党からは日本共産党 辰巳孝太郎参議院議員、立憲民主党 かめいし倫子（みちこ）参議院議員候補、社民党大阪府連 服部良一元衆議院議員、同党 大橋ゆうこ参議院議員候補が今夏の参議院選挙大阪選挙区での野党共闘成功のため、結果し決意表明しました。

主催者あいさつに立った大野委員長は、「安倍政権や維新自治政治による憲法改悪やカジノ誘致など、民意不在を批判し、関西地本として参議院選挙では野党共闘を支援し、全国に広めていこう」と呼びかけました。

辰巳議員は、統計偽装について「アベノミクスの破綻をこまかすために賃金統

議論されています。全港灣

としてはターミナルの自動化については原則反対ですが、テクノロジの進化や労働者の人手不足の問題もあることから、真剣に議論し未来の労働環境を考える

計偽装になつた」と批判しました。また、カジノ問題について「カジノの売り上げは、年間3800億円と見込んでおり、近畿2府4県1700店舗でのパチンコで負ける金額と同等である」と指摘し、引き続き追及していくと決意を述べられました。さらに野党5党で「安保法制を廃止にする法案」を共同で参議院に提出したことを報告しました。

続いてかめいし候補は、弁護士として労働問題について取り組んできた経験も語り、「労働者の時給や賃金が上がっておらず、いま労働者が減少している中で時代に合わせて労働法制の

必要があります。

今回の学習会で港灣の歴史を学び、変化する労働環境についてどのように行動していこうか深く考えていきたいと思われました。

執行委員 菅沼 裕介



決意表明する辰巳孝太郎参議院議員

整備が必要だ」また「批判だけではなく、未来をどう変えていくのか具体的に示し訴えていきたい」と決意を語りました。

閉会のあいさつでは大野副委員長が「お任せ民主主義ではなく、労働者の代表を議会に送り出し、私たちがも能動的に選挙運動をしよう」と呼びかけ、最後に大野委員長の団結カンパロで散会しました。

執行委員 鈴木 大介

# 全港湾第52期中央労働講座 港の雇用と職域を守るろう！

5月7日(9日、豊橋シ

ーパレスにて全港湾第52期中央労働講座が開催されました。中央本部から真島委員長及び鈴木副委員長が出席され、阪神支部からは2名、全国の仲間と合わせて39名の参加となりました。

主催者として真島委員長より「2030年を目標に港が大きく変革されようとしている。10年前に開業された自動化ターミナルである飛島ターミナル見学も含め、3日間で学習を深めましょう」とあいさつされました。

憲法記念日の3日、いくつかのマスメディアが憲法問題の世論調査を発表しました。「朝日」の調査では、憲法を変える機運が「高まっている」が72%で、安倍首相が標的にしている9条を「変えない方がよい」が64%と、多くの国民が改憲を望んでいないことが明らかになりました。それにもかかわらず、安倍首相は同日開かれた改憲派集会に寄せたビデオメッセージで、「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」という気持ちは「今も変わりはない」と

「物流産業における自動化・機械化の課題」として

松谷交通労務事務局次長の講演では、労働組合の役割として、労働条件の確保は正常な労使関係からであり、自動化・機械化の導入は事前協議が前提であること。国の施策任せではなく、働く者の目線での政策要求と新技術による雇用構造の変化への対応が必要であることを学びました。

真島委員長からは「PORT2030」に見える今後の方向性として、「すべての港湾労働者が生き残る

ために、港湾事業者、運送事業者が一体となった港の維持、労働力の確保、将来について議論を重ね、2030年に向けて労使共に改革が必要である」としました。

飛島ターミナルの視察では、トランスファークレーン(テナー)に関しては22台あり、その操作をターミナル内にあるセンターからオペレーター2〜3人で遠隔操作を行い、港湾労働者の職域であるマーシャリング作業がコンピューター管理された約30台のAGV

断言しています。国民が求めてもいない改憲を押し付けるのは、最悪の立憲主義破壊です。

安倍首相は、18年の憲法記念日に9条に自衛隊を書き込むことや「緊急事態条項」を創設するなどの項目を示し、20年に明文改憲に踏み切る意向を明らかにしました。

これが実行されれば、憲法9条2項の戦力不保持・交戦権否認の規定が空文化

## 主張

AGV (コンテナ自動搬送機)

(コンテナ自動搬送機)により捌かれ、マーシャリング要員が不要となる状況を目の当たりにし、人員削減につながる不安を抱きました。

大阪や神戸でも問題とされる海コントレーラーの滞留については、飛島埠頭では4つのターミナルを一手に担う集中管理ゲート(面積約5.5ヘクタール)を設置し、ここで確認した貨物情報をドライバ

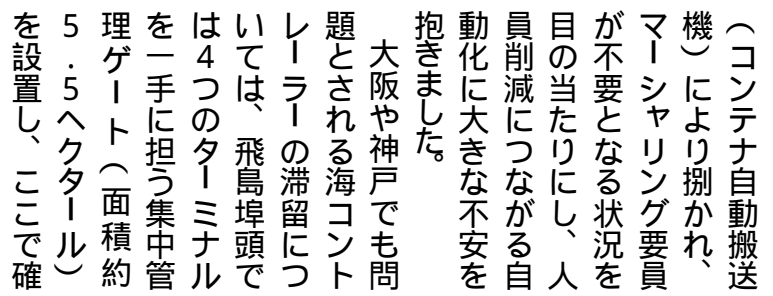
ーが各ターミナルへ向けて移動する間にターミナル内で受け入れ・受け渡し準備を行うことで滞留抑制につ

なげています。滞留を防ぐ抑制面では集中管理ゲートの活用は大いに評価できませんが、人員削減が拡大し我々の業務がなくなります。

・死文化し、自衛隊が大手を振って、海外での戦争に参加することが可能になります。文字通り、自衛隊員が外国で、殺し・殺される事態になりかねません。

安倍首相はさらに自衛隊

をめぐり、「違憲論争」に「終止符」を打つために、「先頭に立って、責任をしっかりと果たしていく決意」と言い切りました。9条があったからこそ、戦後の日本は、世界から評価されて



AGV (コンテナ自動搬送機)

きました。首相が「終止符」を打つというのは、こうした戦後日本の、国のあり方そのものです。

昨年国会に自民党の改憲案を提示、国会の憲法審査会を数の力で押し切つ

て、国民投票に持ち込もうと企てたものの、野党と市民の力で阻止されました。しかしその後改憲発言を繰り返して、憲法審査会での議論などを求めてきました。首相に求められる憲法

尊重・擁護義務も、二権分立の原則も踏みにじり、言語道断な言動です。

もともと憲法は主権者・国民が時の権力を縛るものであり、憲法を尊重・擁護する義務がある首相が、改憲の旗振りをするということ自体、憲法違反です。

安倍首相と自民党が7月の参院選で改憲を「訴える」というなら、「安倍改憲は許さない」で力を合わせ、「安倍改憲サヨナラ」の審判を下すのではありませんか。参院選で改憲策動もろとも安倍政権に「終止符」を打ちましょう。

## 参議院選挙で安倍改憲政 権に「終止符」を打とう

「終止符」を打つために、「先頭に立って、責任をしっかりと果たしていく決意」と言い切りました。9条があったからこそ、戦後の日本は、世界から評価されて

あくまでも機械化・自動化は人の働き手のサポートを主体として進めるのが本質であり、作業の効率化だけを前面に出した規制緩和をさせてはなりません。

人材不足の観点から自動化もあるべきなのか、海外でもターミナルの自動化が進められています。各国でも人の手による職域をどのように確保し、それぞれの産別協定へどのように盛り込んでいくのか。合理化だけを進める自動化ではなく、労働組合として港湾労働者の労働環境を優先した共存共栄の環境を確立させなければなりません。

「PORT2030」に向けた動き、そして今回視察した自動化ターミナルに

関し、港湾労働者の職域の縮小、雇用の削減につながる施策は絶対に認められま

せん。

これまでの全港湾の歴史と港湾労働者の職域の根幹となる港湾運送事業法、港湾労働法、そしてこれまで確立されてきた港湾産別協定、それぞれの中身を再度確認し、確固たるたたかう方針が重要となります。

2030年に向け第4次産業革命と言われる現在、新技術による物流業界のさらなる雇用構造の変化を注視しなければなりません。港湾労働者の職域は港湾労働者の手により捌かれるべき職域です。



飛島(自動化)ターミナル

港湾労働者の団結の力で運動強化を図り、一方的な職域の縮小につながる合理化の流れにあらがう体制づくりが重要であることをあらためて考える中央労働講座となりました。

執行委員 池口 光洋

# 9条改憲発議許さず 平和で核なき世界の実現をめざそう

「輝け憲法―平和といのちと人権を!」をスローガンに5月3日、扇町公園にて大阪総がかり集会が開かれました。

ゲストスピーチに「宮厚美神戸大学名誉教授が講演され、安倍首相が目指す改憲についての見解やアベノミクスの破綻などについて指摘 各政党代表におい



一斉に9条改憲NO!を掲げる

ては、日本共産党、立憲民主党、社民党のあいさつのなかで「3000万人署名を成功させ、市民と野党の共闘で自公と維新を少数に追い込み、安倍政権もろとも9条改憲のたくらみを葬り去ろう」と訴えがあり、集会後3コースに分かれてパレードしました。

私自身としては、普段の生活のなかで憲法の事を考える機会が正直行って多くありません。しかしながら、憲法集会に参加し、スピーチに耳を傾ける事によって関心が湧いてきますし、国会でどんな議論がされているのか考える機会も増えます。憲法第九十六条「この憲法の

改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会がこれを発議し、国民に提案してその承認を経なければならぬ(以下省略)」とあります。つまり最終的に決めるのは私達国民なのです。

## 無関心は最大の戦争の友達 9条守る意義を多くの市民に語りかけよう

5月3日快晴の下、兵庫憲法集会が東遊園地で開催され、阪神支部からも執行部を中心に神戸ブロック、青年部あわせて16名が参加しました。

オープニングでは沖繩辺野古基地反対座り込み運動にも自ら参加し、強いメッセージを送り続けている京都市在住のシンガーソングライター川口真由美さんがミニライブで熱唱し、会場を沸かせました。

未来を担う子供達や若者を戦争に行かせないためにも、安倍9条改憲発議を許さず、平和で核なき世界の実現をめざし、運動の強化と拡大に取り組みしましょう。

執行委員 中川原博

### カマヤん 2つの大阪万博 ありむら港



「70年戦争の責重なき証人として引つらばれよ」  
「長年きたモノが勝ちこのことや」



作家の落合恵子さん

執行委員 鈴木 大介

## 分かるかな？

# 懸賞クイズ



### 【問題】



左の図には2つの漢字が重なっています。  
2つの漢字を答えなさい。

### 629号の回答

「1円玉 = 10枚、5円玉 = 8枚、10円玉 = 2枚」

10名の方から応募があり、全員正解でした。抽選の結果、以下5名の方にQUOカードを進呈します。

飯坂 猛・長野雄二(大運)、三浦孝治(大洋)  
河上あゆみ・佐藤麻衣(ジャパンEXP)

630号の締め切り日は、6月19日(水)です。  
ふるってご応募ください。

憲法9条に書き込まれないため自衛隊員の家族が悲しいのではなく、戦争によって自衛隊員が危険にさらされ、その犠牲によって遺された家族の悲しみを思うべきだ」とし、命の尊厳を強く訴えました。

また、さらに昨年の安倍政権下で起こった森加計問題、統計偽装や改ざん、自民党議員の暴言などを取り上げ、「人として何が正しいか、私たちがプロフェッシ

ヨナルである。すべての子供が生まれてきて良かったと思える社会やお年寄りが長生きして良かったと言え、社会をつくってほしい」と呼びかけました。

参加した神戸ブロック員は「参加者の関心の高さを感ずると共に、現政権の改憲姿勢への危機感を持っていて人が多いということを感じました」と感想を述べました。

集会後、元町大丸前まで大規模なパレードがあり、沿道の市民にアピールしました。